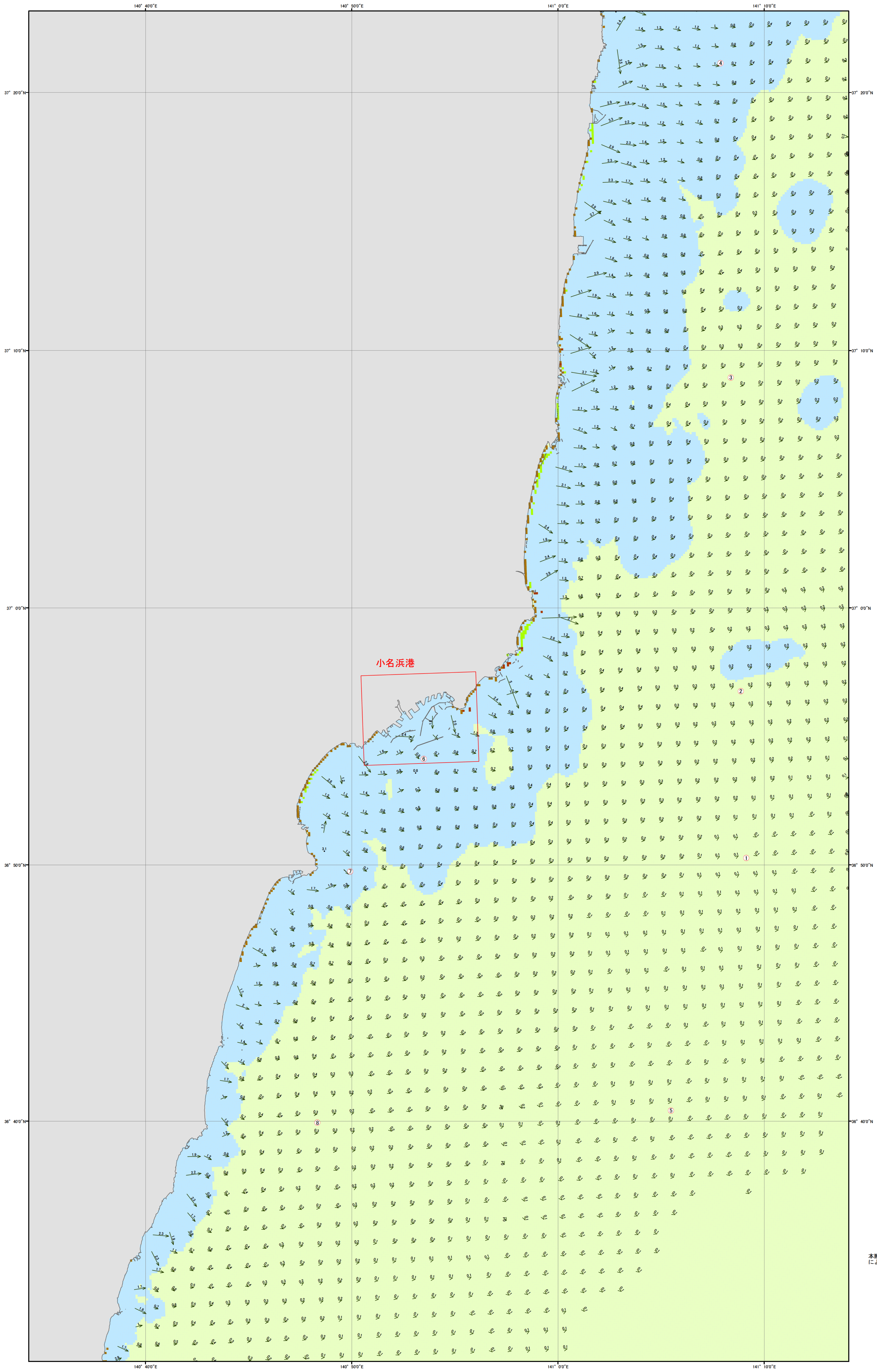


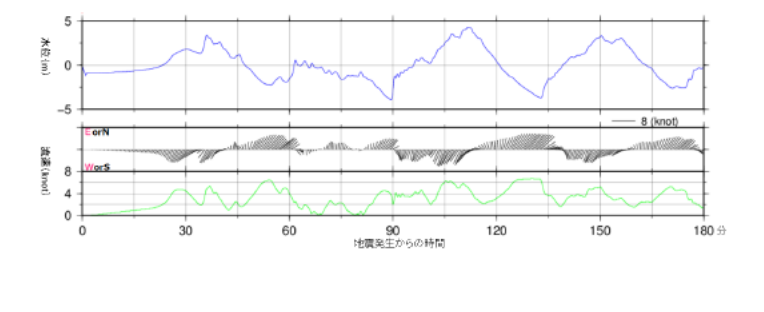
計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -0.01m
 Zo：0.84m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



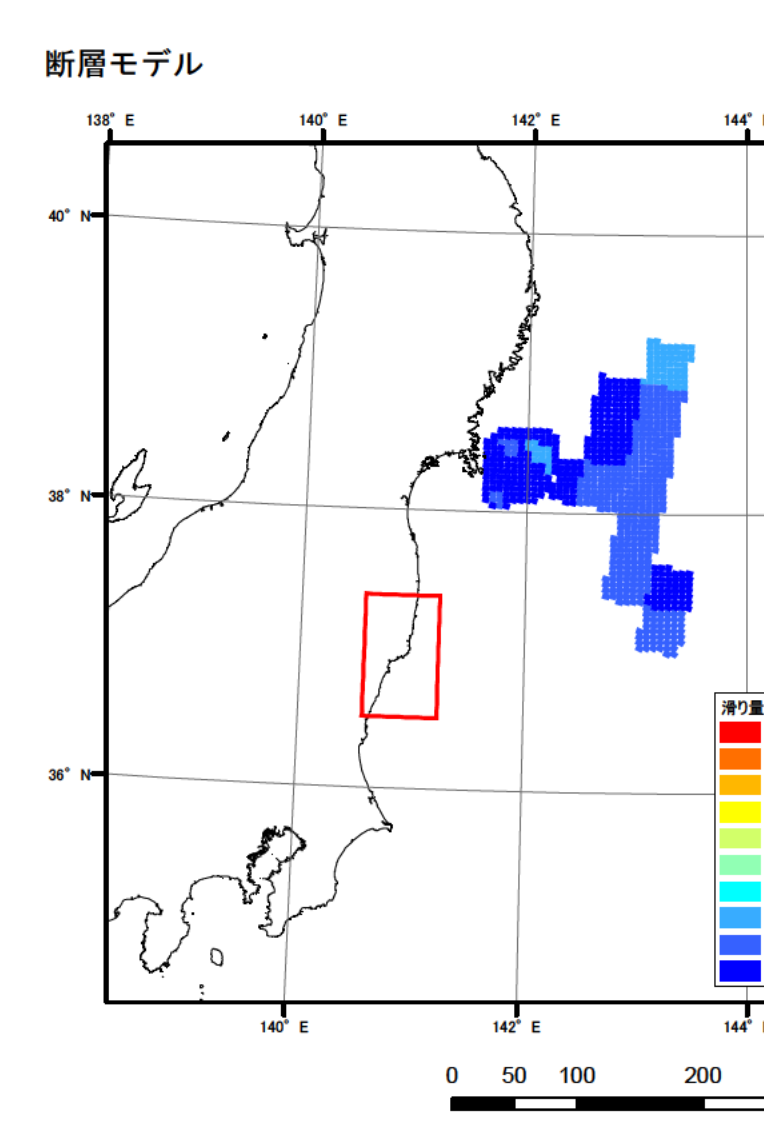
凡例

- 最大水位低下**
- 2~最大2.8m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- 経時変化図
(例) 水位、流向・流速経時変化図

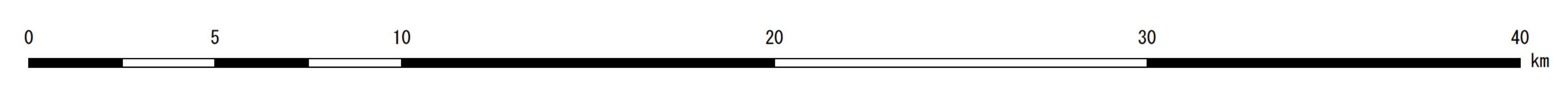


- 引潮時最大流 (knot)**
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみ表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



本断層モデルは、中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
 防災情報作成年月：平成29年7月 (初版)
 地形データ作成年月：平成29年1月 (初版)